

# 教育方針から

## 子どもたちの幸せな将来を見据え 教育施策を進めます

学校現場や保護者の皆さんの声を踏まえ、令和2年1月に新たな教育大綱が策定されました。新たな教育大綱では「教員が子どもたちと向き合う時間の確保」「組織体制の構築による信頼される学校づくり」「未来へとつながる教育・子育て環境の整備」という3つの着眼点が示されています。今年度はこの新たな教育大綱と津市教育振興ビジョンに基づき、教育施策を進めていきます。

津市 教育方針 | 🔍



教育方針を述べる倉田幸則教育長

### 学校教育の充実

#### 新学習指導要領への対応など教育内容の充実

- デジタル教材等を効果的に活用した取り組みや津市英語教育カリキュラムを踏まえた授業づくりなど、特定のテーマに特化した研究プロジェクトに取り組みます。モデル校から発信される先進的な取り組みや公開授業などを通じて、津市全体に成果等を浸透させます。
- 各学校への指導主事訪問をより一層充実させ、各学校のニーズに応じた指導・助言を行います。校内研修担当者や指導教諭など、授業改善の中心的な役割を果たすミドルリーダーを育成し、全ての教員の授業力向上を図り、分かる授業の実現に向けた取り組みを進めます。
- 情報活用能力を学習の基盤となる資質・能力と位置付けて、その育成を図るため、学校のICT環境を整備し、それらを活用した学習活動の充実を図ります。
- 「津市版特別支援教育ハンドブック」を活用し、特別な支援が必要な子どもたちへの指導方法などについて共通理解を図るとともに、通級指導教室のより一層充実した運用につなげます。特別支援教育を中心となって推進していく人材を育成する

ための連続講座の実施、特別支援教育支援員や学校サポーター等の効果的な活用、特別支援教育支援員・幼児ことばの教室指導者の増員などにより特別な配慮や支援が必要な子どもたちへのきめ細かな対応を進めます。

- 初期日本語教室「きずな」と「移動きずな」の充実を図るとともに「外国につながる子どもの教育支援プロジェクト事業」を進めます。人権教育カリキュラムに基づいた人権教育に取り組み、子どもたち一人一人の人権意識を高め、全ての子どもたちが安心して過ごせる学校づくりを進めます。
- いじめの問題や不登校については、各種研修会や関係機関等との連携による事例検討会の開催など、課題の改善に向けた取り組みを進めます。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの多様な職種と連携を図り、チーム学校としての対応を強化します。

#### 教職員の人材育成、教員が子どもたちと向き合う時間の確保

- 管理職のマネジメント力や教員一人一人の指導力および対応力の向上のため、研修会や指導主事の学校訪問、学校運営相談員による支援などあらゆる機会において、その内容を充実させることにより、教職員の力量向上に努めます。



デジタル教材を活用した取り組み